

令和6年度事業計画

公益財団法人 大阪国際交流センター

公益財団法人大阪国際交流センターは、昭和62（1987）年2月に設立され、同年9月開館の「大阪国際交流センター」を拠点に大阪市における地域国際化協会として、35年以上の長きにわたり大阪を中心とした関西一円において国際交流や多文化共生の取組みを通じて市民レベルの相互理解を促進してまいりました。

令和2（2020）年には、大阪市の外郭団体監理の新たな方針により、大阪市の中期目標により求められた事業に3年計画で、主体的に取り組むことが求められました。最終年度の令和5（2023）年度には中期目標を達成し、今後とも多文化共生社会の実現に向けた取組みにおいて、大阪市の求める役割を主体的に果たすことが可能であると認められ、令和6（2024）年4月から、外郭団体の指定を解除されることとなりました。

また、令和5（2023）年12月には「大阪市識字・日本語教育基本方針」が策定され、当財団の果たすべき役割として、大阪市とともに「入門・基礎レベルの日本語学習機会の充実」を図り、初めて日本語を学ぶ外国人住民への日本語教育を担うことが位置付けられ、地域の日本語教室との連携を強化し、誰もが安心して安全に暮らすことができる多文化共生のまちづくりを進めていくこととなりました。

令和6（2024）年度には、「オンライン日本語教室」の拡充、ダイレクト対象日本語教室や日本語事業活動支援ボランティア研修会、「外国人留学生との連携拡大及び起業支援事業」を新規に実施し、入門・基礎レベルの日本語学習機会の充実や外国人留学生の大阪への定着を図るなど、大阪市からの交付金事業の着実な実施に取り組むとともに、引き続き主体的に先駆的な多文化共生事業として「外国人コミュニティ連携事業」等に取り組む、今後も、当財団は大阪市における地域国際化協会として、大阪市と連携し、国際交流や多文化共生の取組みをさらに積極的に進めてまいります。